令和２年度の事業報告書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

ＮＰＯ法人福祉事業大輪の花

１　事業の成果

　４月から新型コロナウイルス感染症対策による福岡県の緊急事態宣言でスタートした１年間であった。当初は未知の存在に不安ばかりだったが、職員及び利用者様の徹底した感染予防対策の基、特に衛生保持や健康管理には気を付け、限られた条件や制約の中で通常通りの営業を継続した。

　そんな中、法人全体でも職員や利用者様のご家族又は直接関係する方々の発熱や体調不良の為に感染の疑いがあるとして検査結果が出るまでの間、濃厚接触者として経過観察で休暇待機を要請する事態が頻繁に繰り返された。しかしながら、直接の関係者で陽性者は一人も出ることが無く運営上大きな支障を生じることは無かった。常に誰かが陽性者になった場合を想定して直ぐに対処が出来るよう体制を整えていた。この敏速かつ徹底した予防対策により安定した経営を行うことが出来た。

　無理な行動を控え、気を緩めずに活動を継続しましたが、感染症の恐ろしさ、チームワークや備えておくことの大切さを痛感させられた。同時にネガティブ思考では前に進まない為、考え方や発想の転換、時間の有意義な使い方、常に情報を入手して慎重に行動を実施することを学んだ１年間だった。

就労継続支援Ｂ型事業ＫＯＫＯＲＯ本舗では、コロナ禍の影響は授産作業の受注において大きな打撃となった。年度当初はどの委託元の企業様からも発注に影響は無いとのことだったが、徐々に仕事が減っていく状況となった。企業様自体の商品販売が低減していることで現在一時的に委託停止の企業様もあり、再開の目途は立っておらずこれにより授産作業の売上額は減少を続けている。

この不況の中でも頂いた作業は確実に仕上げ、企業様からの信頼を損ねる事の無いように継続している。

又、安全面から土曜日等の外出レクリエーションを全て取りやめた。この自粛期間を利用して次へのステップアップと授産売上の拡大を目指したカフェレストランの開設に向けて、製菓、製パン、販売のメンバーが包丁や鍋などを使って調理の実習訓練を始めた。食材や料理に対する向き合い方、衛生面での意識の向上が改めて養われている。

そして製パン部門では２月から今後の目玉商品となる新商品クロワッサンワッフルの生地作りの研究と練習を重ねた。

福祉施設と製造業（経済）という両方の立場から営業を止めることは出来ない為、この時間を無駄にすることなく目標を定め前へ進むことを実行している。

　　　もじのちいさなおかしやさんでも、コロナ禍の影響を多大に受けた。商店街では不要不急で通行される方々が減少し、緊急事態宣言の期間では全く人の姿が見えない事態が続いた。この状況下でもこれまで地域に根付いた活動を地道に行ってきた成果で、ご来店下さる常連のお客様により毎日の売り上げを何とか確保し、運営を継続することが出来た。

　　又、各地で行われていたイベントも殆どが中止になり、平成３０年度では年間２０ヶ所に参加していたバザーも僅か２ヶ所に減り、外販の売上も大きく減少した。

しかしながら、ＫＯＫＯＲＯ本舗と同じくこの時間を利用してパフェを２種類練習し、夏の新商品として販売を開始し、売上増に貢献した。

又、製パン部門で開発している新商品クロワッサンワッフルを令和３年度の春から販売開始が出来るよう店舗のメンバーで焼き上げる練習を行っている。

みんなの王国では、本年度も昨年度から引続き新型コロナウイルス感染症対策を重点的に行うことを念頭に事業所運営を行う年度となった。

春、冬の２回の「緊急事態宣言」により、今まで複数の事業所を併用利用されていた利用者様に、緊急事態宣言解除日までの期間、併用利用に関して控えていただくよう依頼した。併せて、短期入所の利用に関してもレスパイト利用は自粛していただき、相談支援事業所をはじめ関係先事業所に対しても「極力接触する人間の数を減らし、感染リスクを下げましょう。」と協力を呼び掛け、感染リスクを徹底的に低減させることとした。

多少の混乱はあったものの、皆様のご協力の下、当事業所を利用されている利用者様の併用利用は制限され、感染リスクもそうとうに低減でき、１人も感染者を出すことがなかった。

年度内に２度の緊急事態宣言が発出され、近隣の事業所や医療機関ではかなり混乱されていたが、かねてより迅速な情報共有を主とした取組みを行っていたため、併用利用自粛の際にも、利用者様やご家族様、また関係機関など非常に多くの方々から協力をいただくことが出来た。

その結果、多くの事業所がコロナ禍における収益減少を余儀なくされている中、みんなの王国に関しては増収を継続することが可能となった。この結果は、職員にとっても本当に努力し続けた結果であり、「コロナだから仕方がない。」という考え方から「コロナであっても何かできる。」といった「前向きであり、かつ改善策や解決策を同時に思考する。」といった、平常時では考えることがないような考え方を経験することが出来たと思う。

外出活動等のレクリエーションが全て出来なくなり、毎日感染症に怯えるような活動を行ってまいりましたが、そのような状況の中であっても職員からは、「利用者様のために何か出来ることはないか？」「屋内で出来ることはないか？」「楽しめることはないか？」といった意見があり、感染リスクを考慮しながら多くのことを検討した結果、みんなの王国では初めて北九州市障害者芸術祭に参加する運びとなった。

「参加するからには何か結果を残そう。」との意気込みからご家族も含めて再度利用者様の身体機能や認知機能、趣味・特技などを多角的に検証し、担当する職員も参加する利用者様も数か月間真剣に取り組んだ。毎年多くの方が出品されるなか、みんなの王国から２名も入賞（理事長賞・実行委員長賞を受賞）することが出来た。このような大変素晴らしい結果を残せたことは、このコロナ禍においては非常に明るい話題となり、多くの利用者様やご家族様から久しぶりに笑顔を見ることが出来たと思う。

また年度末には北九州市自立支援協議会主催の「自立支援フォーラム」へ、当事業所から職員１名がシンポジストとして参加させていただく機会を得ることも出来た。通常の研修では「一般の参加者」として出席させていただきますが、今回は主催者側に回って、研修を行う立場での参加であったため、代表で出席した職員は事業所を代表して、また見方によっては法人を代表して出席するようなもので、その緊張感は物凄いものであったと感じる。しかしそのような状況下であっても見事に日頃からの取組みを伝え、会場の多くの方々から賞賛されたことは大変素晴らしく、大成功を収めることが出来たと思う。

このような経験はお願いしてもさせていただけるものではなく、本当に貴重な経験になった。

本年度は、大規模感染症の怖さを改めて思い知らされたこと、また日頃からの対策や代替案を複数もつことの重要性など多くのことを再認識させられることとなった。

しかしだからといって、ただそれを憂いていても何もできず、何も解決されないのだということも同時に学ぶことが出来たと思う。

「北九州市障害者芸術祭」や「自立支援フォーラム」などコロナ禍で通常業務が多忙を極める中、新たなる取組みを行い、また多くの結果を残すことが出来たことは、日頃からの職員の努力の賜物であったと感じる。本年度の経験は、今後の事業所運営を行うにあたり、あらゆる面で大いに役立つことだと思う。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施予定場所 | 従事者の人数 | 受益対象者範囲及び人数 | 事業費の金額（千円） |
| ①障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業 | 就労継続支援Ｂ型事業 | 通年 | 北九州市内 | ９人 | 障害者50人 | 68,366 |
| 生活介護事業 | 通年 | 北九州市内 | 13人 | 障害者40人 | 61,022 |
| 授産委託作業、授産品販売（委託作業、菓子等の製造販売） | 通年 | 北九州市内 | ２人 | 一般市民多数 | 9､470 |
| ②障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業および特定相談支援事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |
| ③障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |
| ④障害者の福祉向上のための啓発及び情報提供事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |
| ⑤児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |
| ⑥児童福祉法に基づく障害児相談支援事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |

 (2)　その他の事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者範囲及び予定人数 | 支出見込み額（千円） |
| 物品販売事業 | 実施なし |  |  |  |  |  |